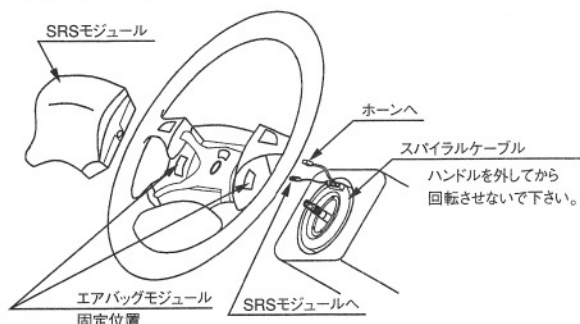


ダイハツエアバッグ車両の取付について

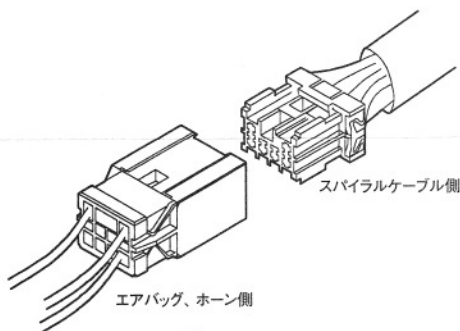
注意：エアバッグ装着車に対する取り付け注意事項をお読み下さい。

●構造形態（純正）

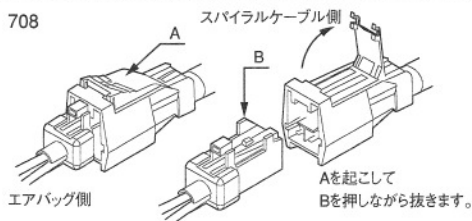


※代表的なタイプです。異なる形状、部品の車両もあります。

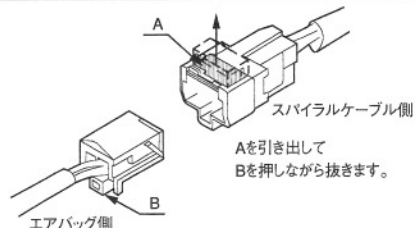
708



708

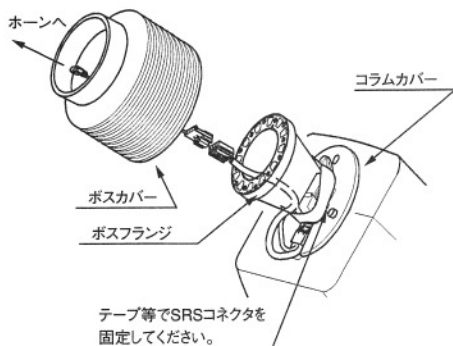


709



ボス品番によってダミーハーネスは異なります。

エアバッグの配線を外し、付属のハーネスを接続して下さい。



- ボス本体をステアリングシャフトに挿入し、SRSコネクタをボスの回りに巻いて、テープ等で固定してからボスカバーをボスフランジに装着して下さい。
- ホーン配線はボス側面の窓よりボスの中を通してホーンに接続して下さい。

ダイハツ電気式エアバック装着車両（1998～） ハブキット配線説明 （709）

この度は弊社製品をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
 下図を参照に配線を行なってください。尚、以下の事項に注意してください。

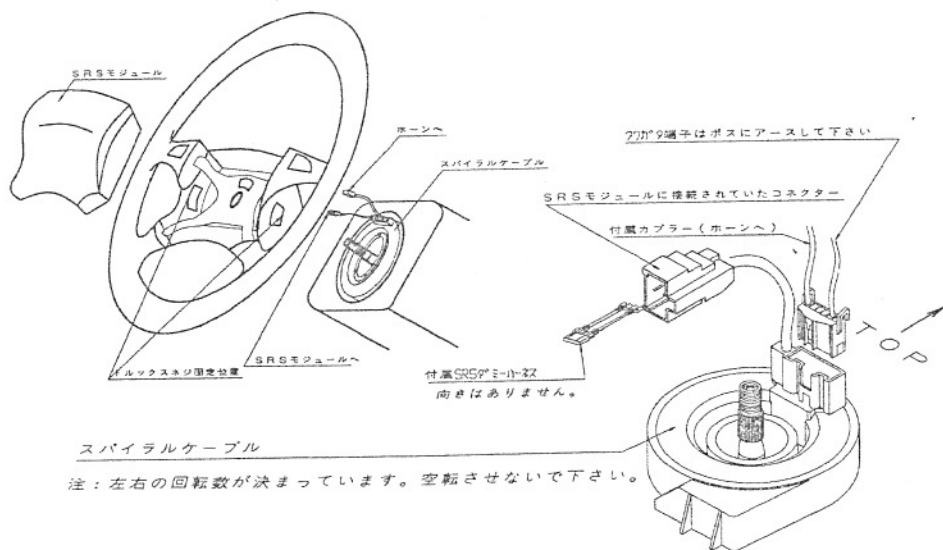
- ・ バッテリーを外している間に作業を行なう事
- ・ スパイラルケーブルは、絶対に空転させずに、純正ハンドルを外した状態の角度のままハブを取り付ける事

（少しの角度を動かすのは問題ありませんが、1回転ずれた状態で、ハブ及びステアリングホイールを取り付けて走行しますと、ステアリングが切れなくなったり、純正部品を破壊して危険です。）

- ・ 純正ハンドルの取り外しとエアバックモジュールの取り外しは、方法と手順を守らないと極めて危険な作業です。しかるべき作業者が自動車メーカーの整備解説書に基づいて、取り外してください。
- ・ 正確な手順でハブ及びステアリングホイールを取付ても、SRS警告灯が消灯できない事がまれにあります。ご了承ください。

（純正のエアバックモジュールを戻しても消灯しない場合は、ディーラーで診断機をかけないと消灯できません。点灯したまま走行しても車両には影響はありません。）

- ・ SRS警告灯が消灯できた車両で、助手席エアバックが装着されている場合、理論的には機能は正常に作動しますが、事故時の作動を完全には保障できません。



取付注意事項

この度は、本製品をお買いいただき、誠にありがとうございます。

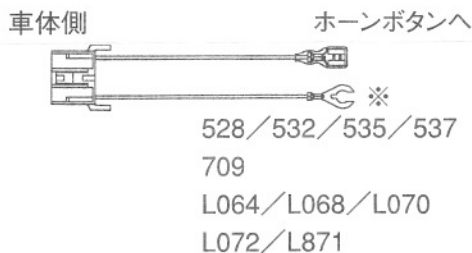
本製品の取付に際しまして下記の作業が必要となりますので、必ず注意事項に添ってお取付頂こう、お願い致します。

	528/532/535
	523/537
対象品番	526/533/536
	L062/L063/L064
	L067/L068/L070
	L071/L072

上記のハブは適合車両によってカプラー内のホーン端子の位置がまちまちですのでホーン用配線の中に設けてあるギボシで、車両に取り付けた後にホーンの鳴る位置に設定してください。

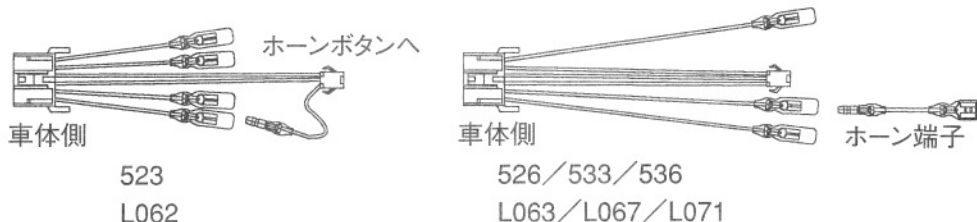
又、テレスコピック装着車の中で、ごく稀にアースの導通が不良な車両があります。

下記配線の余剰なギボシ端子の中のアース線を利用して配線して下さい。



※シャフト、ボス本体にアースが流れない車両はこの端子を金属部分に固定してください。

(純正ハンドル内のコネクターの同位置に配線していない車両はアースの必要がありません)



上記車両はギボシ端子を差し替えてホーンの鳴る場所を探して下さい。

又、アースが流れていない車両は、ホーンのギボシとは別の端子からアース端子を探して利用してください。

(間違えた接続するとハンドルを切ったときなどにホーンが鳴ってしまう事があります)